

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

午前11時 開会

原田事務局長

定刻となりましたので、ただいまから小城郡4町合併協定調印式を開催いたします。

本日の司会進行をいたします合併協議会事務局の原田でございます。よろしく願いをいたします。

まず、開会の言葉を、小城郡合併協議会副会長である小城町長江里口秀次が申し上げます。

江里口副会長

皆さんこんにちは。きょうは本当にすばらしい天気になりました。きょうはお忙しい中に、このようにたくさん御出席をいただきまして、本当にありがとうございます。

そしてまた、きょうは古川知事様、それから篠塚県議会議長様、伊東県議様、そして満田経営支援本部長様、大変お忙しい中に御出席を賜りまして、本当にありがとうございます。

平成14年9月に4町の合併協議会がスタートしました。その中でいろいろ議論がされまして、これからの将来の自治体の生き残りのために我々はどういう選択をすべきかということで、この市町村合併の議論に入ったわけでございます。そういった中、いろいろ皆さんたちから意見を賜り、そして御理解をしていただき、そして協力をしていただきましたことに対しまして、この場をかりまして厚く御礼を申し上げたいと思っております。本当にありがとうございます。

そして、いよいよきょうの日を迎えたわけでございます。

ただいまから小城郡4町合併協定調印式の開会を宣言します。よろしく願いします。

(拍手)

原田事務局長

次に、本日お忙しい中、御出席いただいております来賓の方を、私の方から御紹介させていただきます。

佐賀県知事古川康様。(拍手)

佐賀県議会議長篠塚周城様。(拍手)

次に、地元選出の佐賀県議会議員伊東猛彦様。(拍手)

なお、藤木卓一郎様につきましては、公務のためおくれるという連絡をいただいております。

次に、佐賀県経営支援本部長 満田誉様。(拍手)

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

以上、5名の方に御出席をいただいております。

なお、本日、佐賀県2区選出の衆議院議員今村雅弘様、並びに参議院議員陣内孝雄様、岩永浩美様にも御案内申し上げておりましたが、御都合により欠席されております。皆様方によるしくとのことをごさいましたので、申し添えておきます。

なお、お三名よりメッセージをいただいておりますので、後もって御披露いたします。

次に、これまでの合併経過報告を、小城郡合併協議会副会長の三日月町長林富佳が行います。

林副会長

ただいま御紹介いただきました、三日月町長の林でございます。

合併調印に先立ちまして、小城町、三日月町、牛津町及び芦刈町4町の本日に至るまでの主な取り組み経過について、簡単に御報告をいたします。

お手数ですが、皆様方のお手元に配付いたしております式次第の中に記載いたしておりますので、ごらんいただきたいと思います。

小城郡合併協議会につきましては、平成12年9月に、佐賀市、多久市、佐賀郡、神埼郡、小城郡の18市町村、いわゆる佐賀中部地域の助役、担当課長で合併について検討する「佐賀中部地域市町村合併研究会」が設置されたところをごさいます。その後、平成12年末から4町議会での合併に関する研究が始まりまして、平成13年3月には、議会の主導によりまして「小城郡町村合併研究協議会」が発足し、小城郡4町による合併協議が本格的に始まりました。

平成14年4月に、小城郡4町の枠組みによる法定合併協議会の設置を目指し、任意の合併協議会であります「小城郡合併協議準備会」を設置し、同年7月から8月にかけて、各町の臨時議会におきまして法定合併協議会設置議案を可決されまして、平成14年9月1日に「小城郡合併協議会」が発足したところをごさいます。

小城郡合併協議会では、平成14年9月3日の第1回協議会を皮切りに、合併に関するあらゆる協議を行ってまいりました。10月の第2回協議会では対等合併とする確認をし、11月には一般の住民の方や高校生、中学3年生を対象といたしました新しいまちの建設計画策定のためのアンケート調査を実施いたしました。

また、15年2月には、佐賀県下の合併協議会では例を見ない、住民の視点に立って新しいまちづくりに対して提案を行う「小城郡まちづくり委員会」を発足し、6月8日にはまちづ

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

くりの提案書が合併協議会に提出をされたところでございます。

2月23日、県との共催で「市町村合併をともに考える対話集会」を、ここ、ドゥイング三日目で開催し、4町の住民約350人が参加されたところでございます。

2月26日から3月6日にかけて、合併協議会で策定いたしました新市将来構想の内容や、これまでの経緯を説明し意見交換を行う「合併に関する住民説明会」を各町で開催いたしました。

15年3月には、新市の名称を全国に公募いたしまして5,000件を超える応募があり、名称の種類も2,000種類を超えておりました。その後、8月7日の第11回協議会で新市の名称を「^お小^ま城^し市」とすることが確認をされたわけでございます。

3月20日の第7回協議会では、現在の4町の議会議員が合併後1年間、新市の市会議員として在任することが確認され、5月22日の第9回協議会では、在任特例後の新市の議員定数を26人とすることが確認されたわけでございます。

8月28日の第12回協議会では、庁舎の利用方式として、現在の4町役場に行政機能を振り分ける、いわゆる分庁方式とし、現在の牛津町役場を新市の事務所の位置とすること、及び5年後をめどに（15ページで訂正）本庁方式に移行することが確認をされたところでございます。

10月9日の第14回協議会では、新市のまちづくりの基本方針を定める新市まちづくり計画が確認されました。

10月29日の第15回協議会では、合併目標期日を平成17年3月1日に変更の上、協定項目51項目すべての協議が終了し、11月中旬から各町におきまして住民説明会が開催されたわけでございます。

16年2月までの間、4町合わせて2,400名の皆さん方が参加いただきました。先月19日の第17回協議会では、本日調印を行います合併協定書の確認をいたしまして、本日の調印式に至ったところでございます。

以上で、今までの合併協議経過報告を終わりますけれども、本日はひとつよろしくお願いを申し上げまして、報告にかえさせていただきます。どうもありがとうございました。

（拍手）

原田事務局長

それでは、ただいまから合併協定書への記名調印を行います。

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

まず、合併協定書につきまして簡単に御説明いたします。

協定項目は全部で51項目でございますが、時間の関係もございますので、基本5項目のみの紹介とさせていただきたいと存じます。

会場の皆様には、まことに恐縮ですが、お手元の合併協定書をごらんいただきたいと思います。

協定項目のうち基本的5項目として、協定項目1、合併の方式でございます。合併協議会では、お互いの歴史や文化を認め、近年の地方自治体を取り巻く現状を認識し、その規模の大小にかかわらず、「小城町、三日月町、牛津町、芦刈町を廃し、その区域をもって新しい市を設置する対等合併（新設合併）とする。」としております。

協定項目2、「合併の期日は、平成17年3月1日とする。」で確認されたものであります。

協定項目3、「新市の名称は、「^{おぎ}小城市」とする。」で確認されました。

協定項目4、新市の事務所の位置、すなわち市役所の庁舎の位置であります。合併協議会に小委員会を設置し、都合8回の会議を経て、次のように確認されたものであります。

(1) 新市の事務所の位置は、牛津町大字柿樋瀬1100番地1（現在の牛津町役場）とする。

（分庁方式における総務部（新市の市長、助役、収入役を含む。）が配置される庁舎の位置とする。）

(2) (3) につきましては、各庁舎の名称と組織の配置でございます。

(4) 合併後5年を目途に本庁方式へ移行するものとし、本庁方式への移行方法（事務所の位置、建設方法等）は、新市に委ねるものとする。

なお、本庁方式移行時の事務所の位置と分庁方式における事務所の位置とは、関連がないものとする。

協定項目5、財産、債務の取扱いは、「4町の所有する財産及び債務については、すべて新市に引き継ぐものとする。」

以上が合併の基本5項目でございます。

協定項目の後に、調印書として4町長の署名及び押印を行い、立会人として協議会委員の署名及び特別立会人として佐賀県知事様の署名の構成となっております。

また、合併協定書として作成する部数につきましては、各町分の4部と、県、国へ合併の申請の際に必要な2部の合計6部となります。

ただいまからは4町長の署名押印は4部、立会人の署名については1部、特別立会人の署

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

名については4部をお願いしますので、残りの部数につきましては、時間の都合上、あらかじめ署名をいただいておりますので、御了承をいただきたいと存じます。

以上で合併協定書の説明を終わります。

それでは、早速、調印式をとり行います。

まず、4町長による合併の調印をとり行わせていただきます。4町長、署名席へお願いします。

報道関係の方々、どうぞ前の方へお進みいただき、撮影等よろしくをお願いします。

〔4町長署名〕

原田事務局長

報道関係の方、もとの席へお戻りください。

ありがとうございました。4町長そろっての記名調印が終了いたしました。

調印は、4町長の合併に対する決意のあらわれであります。ここで皆様、温かい拍手をお願いします。(拍手)

ありがとうございました。それでは、もとの席にお戻りください。

それでは引き続き、立会人の署名に移らせていただきます。

立会人は、小城郡合併協議会の委員の皆様をお願いしております。なお、時間の都合上、立会人の署名は前もっていただいておりますので、ただいまからは1冊のみに署名いただきます。

まず、各町の議長をお願いします。4町の議長、署名席へお願いします。

まず、小城町議会議長川副四郎様、お願いします。

次に、三日月町議会議長古賀邦男様、お願いします。

次に、牛津町議会議長徳田芳照様、お願いします。

次に、芦刈町議会議長北川晃様、お願いします。

どうもありがとうございました。もとの席へお戻りください。

これからは合併協議会の委員の皆様をお願いします。

各町議会から選出されている委員各町1名、学識経験を有する委員各町4名及び各町助役の方々です。

署名は、それぞれの席でお願いします。

まず、小城町の相原一郎副議長、お願いします。

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

次に、三日月町の大平竜弘副議長、お願いします。

次に、牛津町の西山勝副議長、お願いします。

次に、芦刈町の金子清登副議長、お願いします。

次に、小城町の江島廉一委員、お願いします。

同じく、小柳容子委員、お願いします。

同じく、中尾伸代委員、お願いします。

同じく、服巻芳史委員、お願いします。

次に、三日月町の上野美智子委員、お願いします。

同じく、香月チエミ委員、お願いします。

同じく、末次正二郎委員、お願いします。

同じく、松永幸雄委員、お願いします。

次に、牛津町の井上俊夫委員、お願いします。

同じく、加藤邦子委員、お願いします。

同じく、松尾智美委員、お願いします。

同じく、山本康徳委員、お願いします。

次に、芦刈町の荒巻利幸委員、お願いします。

同じく、石橋正明委員、お願いします。

同じく、下村廣子委員、お願いします。

同じく、古川恭子委員、お願いします。

次に、牛津町助役村岡泰三様、お願いします。

次に、小城町助役常松昊士様、お願いします。

次に、三日月町助役秋丸喜代晴様、お願いします。

最後に、芦刈町助役井手幸由様でございます。

ありがとうございました。これで立会人の署名が終了いたしました。

特別立会人として、佐賀県知事古川康様に署名をいただきます。佐賀県知事様、署名席に
お願いします。

〔特別立会人署名〕

原田事務局長

どうもありがとうございました。これで合併協定書の調印が終了しましたので、ここで4

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

町長、会場の皆様へ合併協定書の御披露をお願いします。4町長と佐賀県知事様、前にお進みください。

〔佐賀県知事・4町長整列、協定書披露〕

原田事務局長

それでは、御来賓の皆様、町議会議長の皆様も中央にお進みください。

〔来賓・町議会議長整列、写真撮影〕

原田事務局長

お待たせいたしました。皆さんお並びになりました。

新しい歴史の第一歩であります。皆さん盛大な拍手をお願いします。(拍手)

ありがとうございました。もとの席にお戻りください。

これで調印式を滞りなく終了することができました。

それでは、ここで主催者を代表しまして、小城郡合併協議会会長の牛津町長牧口新太がごあいさつを申し上げます。

牧口会長

皆さんこんにちは。合併調印式を主催します4町を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、公私ともにお忙しい中、古川康佐賀県知事様を初め、篠塚周城県議会議長様、小城郡選出の伊東猛彦県議会議員様、藤木卓一郎県議会議員様、満田誉佐賀県経営支援本部長様など多数の御来賓の皆様をお迎えし、また、4町の議会議員の皆様と4町の各界、各層を代表される皆様の御臨席を賜り、合併協議会委員の皆様の立ち会いのもとに、小城郡4町の合併協定調印式を挙行できましたことは、まことに喜びにたえない次第であり、ここに深くお礼を申し上げます。

御列席の皆様の御尽力と御協力によりまして、ただいま古川知事を特別立会人として調印が無事終了いたしました。

さて、国、地方を通じて厳しさを増す財政状況、急速に進行する少子高齢社会など、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化する中で、地方分権推進の一環として、自己責任、自己決定を基本理念とする地方行財政制度の改革が進められており、市町村合併は避けて通れないとの思いで、一昨年9月から約1年半余り合併協議を進めてまいりました。

この間、51の協定項目、約1,300項目にも及ぶ事務事業の調整、新市まちづくり計画の策

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

定などを行うため、17回の協議会を初め、小委員会、幹事会など延べ 600回にも及ぶ会議を開催してまいりましたが、本日までの道のりは決して平たんなものばかりではありませんでした。

各町がこれまで行ってきた施策の違いや、現在置かれている立場の違いなどによりまして、調整が難しい問題も多く、その都度、真剣かつ活発な議論を交わし、共通認識を築き上げ、本日に至ったわけではありますが、時には議論が白熱する余り協議会が長時間に及ぶこともございました。

本日調印しました合併協定書は、合併協議に携わったすべての皆様が、小城郡4町の将来の発展を真に願い、次代を担う子供たちが誇りと自信を持つことができるまちづくりを行うために、合併の実現に向けた確固たる信念と互譲の精神のたまものであり、ここに関係者の皆様に深甚なる敬意を表するものであります。

また、まちづくり委員会の皆様を初め、住民の皆様からも多くの貴重な御意見や建設的な御提案をいただきましたことに改めて感謝申し上げますとともに、小城市の将来に対する期待の大きさを実感し、身の引き締まる思いであります。

今後、4町とも4月16日の臨時議会で合併関連議案の審議や県議会での審議など一連の法手続を終えて、平成17年3月1日に小城市の誕生となるわけですが、4町が一丸となって合併に向けた万全の準備を行い、新市においては合併協定書及び新市まちづくり計画に基づく各種施策を展開し、「^{くまがたしんと}薫風新都～みんなでつくる・笑顔あふれる小城市～」を実現するために全力を傾ける所存であります。

県におかれましては、これまで市町村課を中心として多大なる御支援をいただきましたことに対し深く感謝申し上げますとともに、合併前後の各施策にも引き続き御指導、御支援を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。

最後になりましたが、合併協議会委員の皆様、4町議会の議員の皆様、合併協議に御理解と御協力をいただきましたまちづくり委員会の皆様を初めとする住民の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、膨大な事務調整などを行っております4町の職員の努力に対する労をねぎらいまして、ごあいさついたします。

平成16年4月10日、小城郡合併協議会長牧口新太。

ありがとうございました。(拍手)

原田事務局長

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

続きまして、立会人の代表としまして、小城郡合併協議会委員で小城郡議長会会長の三日月町議会議長古賀邦男様にごあいさつをお願いします。

古賀小城郡議長会会長

しーんと静まり返ったこの会場で、皆さん方を前にいたしまして非常に緊張いたしております。何を申し上げていいのか、言葉の述べようもないような次第でございます。身の引き締まる思いをいたしているところでございます。

本日のこのよき日に、古川知事さんを初め御来賓の方々の御臨席をいただきまして、そしてまた4町の各種団体の方々、行政関係の皆様方の御参加をいただきまして、ここに滞りなく調印の式が終了いたしましたことを、皆さんとともに心からお喜びを申し上げる次第でございます。

この調印式に至りますまでの経過につきましては、あえて私が申し上げるまでもないと思いますが、私が忘れることができない、私の脳裏に残っておりますのが、平成13年3月27日でございます。皆さん方のお手元の資料にもございますように、小城郡4町の議会が主導的立場に立って合併研究協議会を設置した思い出でございます。

明けまして、14年9月には法定の合併協議会が設置をされまして、各4町の町長さんを初め執行部の皆さん方、そしてまた議会代表の方々、一般住民の方々によって、51項目にわたりまして協議をしていただいたわけございまして、その後、住民説明会等が行われ、今年2月末をもって終了いたしましたわけでございます。

今日ここに調印の式を迎えることができたのは、県の古川知事さんを初め県の皆さん方の御指導のもと、そしてまた会長の牛津町の牧口町長さん、そして小城、三日月、芦刈各4町の町長さんを初め執行部の皆さん、そしてまた行政関係の方々、そしてまた住民の皆さん方の御理解と御協力をいただきながら今日を迎えたということも言えるかと思えます。

いよいよをもちまして、16日には臨時議会が予定されているわけでございますけれども、この臨時議会に六つの議案が提案をされます。その議案の一つ一つに対しまして、私たちは決意を新たにいたしまして、新しい市、小城市の誕生に向けまして誠心誠意取り組んでまいり所存でございますので、今後ともよろしくお願いを申し上げる次第でございます。

甚だ簡単でございましたけれども、立会人の皆様方にかわりまして、ごあいさつにかえさせていただきます。

きょうは本当におめでとうございました。(拍手)

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

原田事務局長

続きまして、来賓の御祝辞を賜りたいと思います。

まず、佐賀県知事古川康様、よろしく申し上げます。

古川佐賀県知事

御紹介をいただきました、佐賀県知事の古川康でございます。

本日は、小城郡4町の合併調印式にこのようにお集まりをいただきまして、私どもとしても心からうれしく思っております。

この合併が関係町議会の議決を経て、そしてまた県議会における議決を経、総務大臣に申請をするという行為がうまく進めば、来年の3月には新しい「小城市」が誕生することになります。天山から有明海まで至る山から海までを広く含んだ、そしてまた城下町、農業地帯、干拓地、漁業、そして商都、こういうさまざまな顔を持った非常にバランスのいい地域ができるということを今から期待しております。

ここに至るまでの協議の過程においては、これまでもいろいろな方から御紹介がありましたように、さまざまな議論、そういったものがあつたと思っております。

思えば、この4町は、明治時代にその淵源を発しているものもあれば、昭和の初期、あるいは戦後、そういういろんな時期にこの4町の枠組みができておりまして、これまでの間、一番長いところでは百数十年にわたって地域のコミュニティーをずうっと保ってきたわけがあります。

そういうことを考えれば、この長年続いた枠組みを変え、新しい時代に合ったものにするということについて、さまざまな御議論や御懸念があることは当然であろうと思っております。そういう大変なところを御調整いただきました町当局、議会、そしてまたここにおられます合併協議会の委員の方々、そして、いろんな意味でこの合併調印式に至るまで御支援をいただきました、ここにいらっしゃる皆様方に、心から御礼と感謝を申し上げたいと思っております。

新しい地域のキャッチフレーズは、先ほども紹介がありましたように、「^{くんぷうしんと}薫風新都」と伺っております。まさに来年の今ごろ、風薫るこの時期に、新しい市の誕生が佐賀県の中央部に非常にいい地域ができ上がるということの結果になるよう心から期待を申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日はまことにおめでとうございました。(拍手)

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

原田事務局長

どうもありがとうございました。

続きまして、佐賀県議会議長篠塚周城様に御祝辞を賜ります。よろしく申し上げます。

篠塚佐賀県議会議長

皆さんこんにちは。御紹介をいただきました県議会議長の篠塚でございます。

本日ここに、小城郡4町合併協定調印式がとり行われるに当たり、県議会を代表いたしまして一言お祝いの言葉を申し上げたいと存じます。

御承知のとおり、我が国の社会経済情勢が大きく変貌する中、日常生活圏の拡大や少子高齢化の進行、地方分権の本格化、さらには厳しい財政状況など、市町村を取り巻く環境も大きく変化をしているところであります。そのような意味からも、住民に最も身近な基礎的自治体である市町村が、住民本位の行政サービスをより効果的に提供していくためには、市町村合併は避けて通ることのできない重要な課題であると思っております。

ところで、小城、三日月、牛津、芦刈の4町におかれましては、古くから人や物の交流が盛んな地域であります。産業や生活など多くの面で密接不可分な関係にあり、新しい時代にさらなる発展を期すためには、合併により行政基盤を強化するとともに、より広域的な視点に立った地域づくりが必要であるとの認識のもと、平成14年9月に合併協議会を設置以来、熱意あふれる協議を重ねてこられたところであります。

そして、本日ここに、各町御当局並びに議会、さらには住民各位の総意のもと、小城郡4町合併協定調印式の実現に至りましたことは、地方自治の充実強化と住民福祉の増進にとってまことに喜ばしいことであり、本日の調印式を心からお祝い申し上げますところであります。4町関係各位の御労苦に対しまして、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

どうか平成17年3月を合併目標期日に誕生する小城市におかれましては、市御当局並びに議会各位の円滑、適正な運営と、住民各位の御協力による諸施策が着実に推進され、新市が大きく飛躍されますことを心から念願いたしますとともに、4町それぞれの人材、文化、産業等の資源を優位的に連携・活用され、地域住民の皆さんにとって誇れる新市となられますことを御期待申し上げますところであります。

結びに、小城、三日月、牛津、芦刈4町のますますの御発展と、本日お集まりの皆様方の御健康を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成16年4月10日、佐賀県議会議長篠塚周城。

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

本日はまことにおめでとうございます。(拍手)

原田事務局長

どうもありがとうございました。

続きまして、佐賀県議会議員伊東猛彦様に御祝辞を賜ります。よろしく申し上げます。

伊東佐賀県議会議員

皆さんこんにちは。ただいま御紹介いただきました伊東でございます。

私は、きょうぐらい小城郡選出の県議会議員であったことを誇りに思った日はございません。私どもの小城郡が小城市に向かって本当に大きな一歩を踏み出すこの調印式に立ち会うことができたことに対して、感激と感動でいっぱいでございます。

先ほど、古賀議長さんからのお話でも御紹介ありましたとおり、平成13年3月27日に4町の議長さん、助役さん、担当課長さん、そして総務委員長さん方が、ひざを突き合わせて、もう合併していくしかないというお話から、大きく一步一步進んでいっただろうと思っております。その中で、4町議会の皆さんが果たされた役割に本当に敬意を表している次第でございます。並びに、議長さんを初め4町の町長さん方の本当に苦しく、また、新市をつくらうという熱い熱い情熱に敬意と感謝を表する次第でございます。

私も、小城郡選出で県議会に身を置かせてもらいまして、小城郡にないものはないというぐらいに、ありとあらゆる課題、海のこと、山のこと、また農業のこと、私どもの小城郡にないという問題はありませんでした。その4町の力を一つにしていって、佐賀県内でキラリと光る薫風新都が必ず築いていけると私も確信をしている次第でございます。

並びに、合併協議会の委員の皆様方の熱い思いを傍聴させていただくたびに、あの激論、4町の立場を超えた非常に熱い前向きな議論は、新市の市議会が立ち上がる前の私どもの代表の皆さんであったと、そのことにも心から敬意と感謝を表する次第でございます。

県においても、今年度195億円の地方交付金の不足額、4町もそうであったでありましょう。合併をしなければ大きな差ができてしまうという国の政策誘導もございまして、そのことで合併するわけではありませんが、何としても小城郡4町の町民の皆さんの幸せのために本日があった、そして、皆さんの御努力があったということ、私も本当に誇りに思っております。

どうぞ4町議会の議員の皆様におかれましては合併の議決を、そして、その後は私ども県議会の番でございます。そして、知事の決定、総務大臣への届け出と、新市が発足するまで

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

油断なく、熱い情熱を持って、皆さんとともに歩んでまいりたいと思います。

本日に今日までの皆様の御努力に心から敬意と感謝を表しまして、ごあいさつといたします。

本日にきょうはおめでとうございます。(拍手)

原田事務局長

どうもありがとうございました。

続きまして、佐賀県議会議員藤木卓一郎様に御祝辞を賜ります。よろしく申し上げます。

藤木佐賀県議会議員

こんにちは。きょうは小城郡4町合併協定の調印式が、平成17年3月1日の小城市の誕生に向けて滞りなく開催されておりますことに、心からお喜びを申し上げたいと思います。

きょうは、私自身、自由民主党の第2選挙区支部青年局ということで、野中広務先生を招いての特別講演会を開催する手はずになっておりました。同時刻に開催の段取りになって、折悪くなってしまうので、多少おくれてまいりましたこと、まずもっておわびを申し上げたいと思います。

私自身、この小城郡全域、小城町、牛津町、芦刈町、そして御当地三日月町の4町と、佐賀県との連絡調整の役割を担っております。具体的には、土木事務所、また農林事務所の皆さんたちと、1年に一度、連絡調整会議と称して、町長さんたちや建設課長さんたちとかと一緒に議論を重ねております。そういうときに、川上の問題から川下の問題、いろんな意味で何とか調整つけられればなと思うときが多々ありました。これが、これから将来、開発の問題一つとってみても一元的に管理できる時代が来る、そして、予算総額が200億円まではいかないにしても、その予算でこの地域発展のために一元的に投資をすることができるということは、町民皆さんにとっても本当に夢のような話であります。

これから、いろいろまた御苦労があるかと思いますが、平成17年3月1日の合併の日に向けて、また皆さんと一緒に私も努力をしてまいりたいと思います。

今日に至るまで御苦労をされた合併協議会委員の皆様方、そして関係者皆様方の御苦労に心から敬意を表しつつ、私のあいさつにかえます。

御静聴いただき、ありがとうございました。(拍手)

原田事務局長

どうもありがとうございました。

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

次に、祝電が参っておりますので、ここで御披露させていただきます。

小城郡4町合併協定調印式に当たり、心よりお喜び申し上げます。

小城町、三日月町、牛津町、芦刈町の4町及び関係者皆様には合併協議に真摯に取り組み、本日の調印式を迎えることができましたことに対し、深甚なる敬意を表します。今後の御発展を心から期待申し上げますとともに、御臨席皆様方のますますの御活躍と御健勝を御祈念いたします。

自由民主党副幹事長衆議院議員今村雅弘様。

小城郡4町合併協定調印式の御盛典を心よりお喜び申し上げます。

地方の将来を見据え、多くの課題を克服しつつ意義深い本を迎えるに当たり、御辛勞賜った牧口会長様を初め関係の皆様方に深く敬意を表します。新たなスタートのときに当たり、各町議会を初め地域皆様方のさらなる御理解、御支援を期待申し上げ、あわせて御列席皆様方の御多幸を祈念いたします。

参議院議員陣内孝雄様。

小城郡4町合併協定調印式が厳粛に催されるに当たり、心から祝意を表します。

平素地域の活性化と住民福祉の向上に努められている関係者に深甚なる敬意を表します。行財政制度の見直し、広域行政の推進など、地方を取り巻く環境が今大きな変化を求められているとき、関係住民の合意に基づき、ここに小城郡4町合併協定が調印されることはまことに意義深いこととあります。本日の記念すべき日が地方分権の確立に向けての大きな布石となることを切望し、あわせて小城郡の今後ますますの発展を心からお祈り申し上げます。

参議院議員農林水産常任委員長岩永浩美様。

以上でございます。

最後に、閉会の言葉を小城郡合併協議会副会長の芦刈町長中島正之が申し上げます。

中島副会長

公私とも大変お忙しい中にも、御来賓の皆様方を初め多くの皆様方の御臨席をいただき、まことにありがとうございました。心からお礼を申し上げます。次第でございます。

私ども小城郡4町は、16日に臨時議会が行われまして、合併に関する議案を御審議いただき、その後、合併に向けてさまざまな事務調整の準備を行い、来年3月1日、小城市誕生の予定でございます。

[合併協定調印式 平成16年4月10日]

きょうお集まりの皆様方は、これからも小城市誕生のために御支援、御協力を賜りますことを心からお願い申し上げて、小城郡4町合併協定調印式を閉じさせていただきます。

本日は皆様、本当にありがとうございました。(拍手)

原田事務局長

ありがとうございました。

それから、事務局の方からお配りしております資料について、修正とおわびを申し上げたいと思います。

合併協定調印式の資料の経過報告の欄でございますけれども、下から5段目、15年8月28日のところでございますが、第12回合併協議会におきまして、庁舎の活用方法について分庁方式とし、「5年後を目処に「本庁方式」に移行することを確認」ということで記述いたしておりますが、この「5年後」は正式には「合併後5年を目処に」という文言でございますので、この「5年後」を「合併後5年」ということで御修正方をお願いいたしたいと思えます。大変申しわけございませんでした。

これをもちまして、小城町、三日月町、牛津町及び芦刈町の合併協定調印式を終了いたします。どうもありがとうございました。(拍手)

午後0時10分 閉会